



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL <https://www.koike-japan.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 英夫
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	34,771	16.6	2,321	121.1	2,638	77.3	1,600	200.2
2022年3月期第3四半期	29,823	7.2	1,049	78.3	1,488	128.5	533	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,027百万円 (98.2%) 2022年3月期第3四半期 1,527百万円 (354.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	383.19	-
2022年3月期第3四半期	128.26	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	63,398	36,356	52.3
2022年3月期	59,935	33,693	51.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 33,153百万円 2022年3月期 30,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	-	-	60.00	60.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	7.6	2,300	36.1	2,700	30.9	1,400	40.6	336.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	4,522,933株	2022年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	335,813株	2022年3月期	355,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	4,177,700株	2022年3月期3Q	4,158,002株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
受注及び販売の実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな持ち直しが続いたものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に起因した資源価格の高止まりや高インフレにより、先行き不透明な状況となりました。

一方、わが国経済は、ウィズコロナのもとで持ち直しの動きが見られましたが、世界的な金融引締め等による下振れリスクが懸念され、依然として予断を許さない状況で推移しました。

当社グループの主需要先である建設業界・産業機械業界・造船業界では、需要回復の兆しが見られるものの、鋼材価格の上昇が重荷となり回復に鈍化がみられました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画で掲げた「世界市場での顧客満足の実現」に向けた拡販活動の推進や収益力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は347億71百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益は23億21百万円（同121.1%増）、経常利益は26億38百万円（同77.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億円（同200.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、「2022 KOIKEプライベートフェア」を開催し、当社オンリーワン技術のDBCファイバーレーザー切断機のフルラインアップ（出力18KW/12KW/8KW）を発表しました。また、国内・海外市場におけるお客様の省エネルギーニーズや課題を解決する製品群の営業活動を強化したことにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は136億62百万円（前年同期比44.6%増）、セグメント利益は16億26百万円（同249.3%増）となりました。

高圧ガス

産業ガス分野においては、原材料や電気料金の高騰を背景とした価格改定や当社主需要先である建設業界・産業機械業界の需要の回復とともに、深耕拡大および新規拡販活動に注力しました。医療分野においては、酸素濃縮器のレンタルが引き続き好調に推移するとともに、営業活動の強化によりCPAPレンタル、ディスポーザル吸引器の販売が好調に推移し、売上高は増加しました。

その結果、売上高は143億63百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は11億60百万円（同4.2%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、省力化や作業環境改善を目的とした自動化機器や作業効率化工具、安全保護具などの販売が堅調に推移し売上高は増加しました。

その結果、売上高は62億14百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は4億43百万円（同30.0%増）となりました。

その他

その他の部門においては、海外液晶パネル向け排ガス除害装置や光ファイバー向けヘリウム回収精製装置等の販売に注力したことにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は5億31百万円（前年同期比88.1%増）、セグメント利益は1億31百万円（同546.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は633億98百万円で、前連結会計年度末比34億63百万円の増加となりました。

流動資産合計は358億91百万円で、前連結会計年度末比22億78百万円の増加となりました。これは主に電子記録債権が9億72百万円増加、商品及び製品が9億20百万円増加、仕掛品が9億4百万円増加の一方、受取手形及び売掛金が6億5百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は275億6百万円で、前連結会計年度末比11億84百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が9億22百万円増加、機械装置及び運搬具が1億57百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は270億42百万円で、前連結会計年度末比8億円の増加となりました。

流動負債合計は214億33百万円で、前連結会計年度末比13億45百万円の増加となりました。これは主に電子記録債務が7億45百万円増加、前受金が7億29百万円増加したことによるものです。

固定負債合計は56億9百万円で、前連結会計年度末比5億44百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が3億46百万円減少、長期繰延税金負債が1億17百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は363億56百万円で、前連結会計年度末比26億62百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が13億49百万円増加、為替換算調整勘定が10億21百万円増加、非支配株主持分が2億95百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は52.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,751	12,320
受取手形及び売掛金	10,317	9,711
電子記録債権	2,623	3,596
有価証券	—	1
商品及び製品	3,986	4,907
仕掛品	1,986	2,890
原材料及び貯蔵品	1,546	2,063
その他	681	671
貸倒引当金	△280	△270
流動資産合計	33,613	35,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,769	3,792
機械装置及び運搬具(純額)	907	1,065
工具、器具及び備品(純額)	844	903
土地	6,462	6,342
リース資産(純額)	1,024	881
建設仮勘定	37	77
有形固定資産合計	13,047	13,063
無形固定資産		
のれん	23	19
リース資産	4	3
その他	277	436
無形固定資産合計	306	459
投資その他の資産	12,968	13,983
固定資産合計	26,322	27,506
資産合計	59,935	63,398

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,176	6,318
電子記録債務	3,427	4,172
短期借入金	4,432	4,487
1年内返済予定の長期借入金	469	437
未払法人税等	536	397
賞与引当金	537	410
役員賞与引当金	72	44
受注損失引当金	42	103
製品保証引当金	125	125
その他	4,268	4,935
流動負債合計	20,088	21,433
固定負債		
長期借入金	1,721	1,374
役員退職慰労引当金	149	58
退職給付に係る負債	205	217
資産除去債務	15	15
その他	4,061	3,942
固定負債合計	6,153	5,609
負債合計	26,241	27,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,332	2,332
利益剰余金	20,847	22,197
自己株式	△814	△766
株主資本合計	26,394	27,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,360	2,330
繰延ヘッジ損益	△22	1
土地再評価差額金	864	858
為替換算調整勘定	876	1,898
退職給付に係る調整累計額	312	271
その他の包括利益累計額合計	4,390	5,361
非支配株主持分	2,907	3,203
純資産合計	33,693	36,356
負債純資産合計	59,935	63,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	29,823	34,771
売上原価	21,014	24,411
売上総利益	8,809	10,360
販売費及び一般管理費	7,759	8,039
営業利益	1,049	2,321
営業外収益		
受取利息	18	21
受取配当金	115	141
受取賃貸料	253	261
持分法による投資利益	—	7
物品売却益	54	68
為替差益	24	—
貸倒引当金戻入額	0	6
雇用調整助成金	121	—
その他	59	51
営業外収益合計	647	558
営業外費用		
支払利息	63	56
賃貸費用	108	114
持分法による投資損失	5	—
為替差損	—	53
その他	31	16
営業外費用合計	209	241
経常利益	1,488	2,638
特別利益		
固定資産売却益	29	93
関係会社株式売却益	20	—
特別利益合計	49	93
特別損失		
固定資産除売却損	5	1
減損損失	8	8
関係会社整理損	36	—
建物解体費用引当金繰入額	8	—
関係会社出資金評価損	—	39
その他	4	1
特別損失合計	62	52
税金等調整前四半期純利益	1,475	2,679
法人税、住民税及び事業税	450	749
法人税等調整額	130	△34
法人税等合計	581	715
四半期純利益	894	1,963
非支配株主に帰属する四半期純利益	360	362
親会社株主に帰属する四半期純利益	533	1,600

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	894	1,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	320	△17
繰延ヘッジ損益	△16	24
土地再評価差額金	—	△5
為替換算調整勘定	368	1,103
退職給付に係る調整額	△38	△40
その他の包括利益合計	633	1,064
四半期包括利益	1,527	3,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,137	2,571
非支配株主に係る四半期包括利益	389	456

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収 益	9,447	13,916	6,177	29,541	282	29,823	—	29,823
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	9,447	13,916	6,177	29,541	282	29,823	—	29,823
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,447	13,916	6,177	29,541	282	29,823	—	29,823
セグメント利益	465	1,114	341	1,920	20	1,941	△891	1,049

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△891百万円には、セグメント間取引消去111百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△927百万円、棚卸資産の調整額△166百万円、貸倒引当金の調整額100百万円、その他の調整額△9百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収 益	13,662	14,363	6,214	34,239	531	34,771	—	34,771
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	13,662	14,363	6,214	34,239	531	34,771	—	34,771
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	13,662	14,363	6,214	34,239	531	34,771	—	34,771
セグメント利益	1,626	1,160	443	3,230	131	3,362	△1,040	2,321

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△1,040百万円には、セグメント間取引消去116百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,021百万円、棚卸資産の調整額△152百万円、貸倒引当金の調整額25百万円、その他の調整額△9百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

(1) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	10,264	112.7	7,302	117.4

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	13,662	144.6
高圧ガス (百万円)	14,363	103.2
溶接機材 (百万円)	6,214	100.6
報告セグメント計 (百万円)	34,239	115.9
その他 (百万円)	531	188.1
合計 (百万円)	34,771	116.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。